

たかしま

広報

Takashima City
Public Relations

2025

令和7年

6

月号

No. 305

主な
内容

- 特集1 徹底解剖！
中江藤樹・たかしまミュージアム… 2
- 特集2 今、高島の若手農家がアツイ！… 6

大溝祭 (5月4日)

6年ぶりに、神社大鳥居下で神輿振りを披露
する「馬場三回返し」を実施されました。

市公式 SNS 等で情報発信中！

Facebook

Instagram

LINE

マチイロ



イメージキャラクター
「たかP」

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

いよいよ

今年 9月・10月に開催!!



徹底解剖！



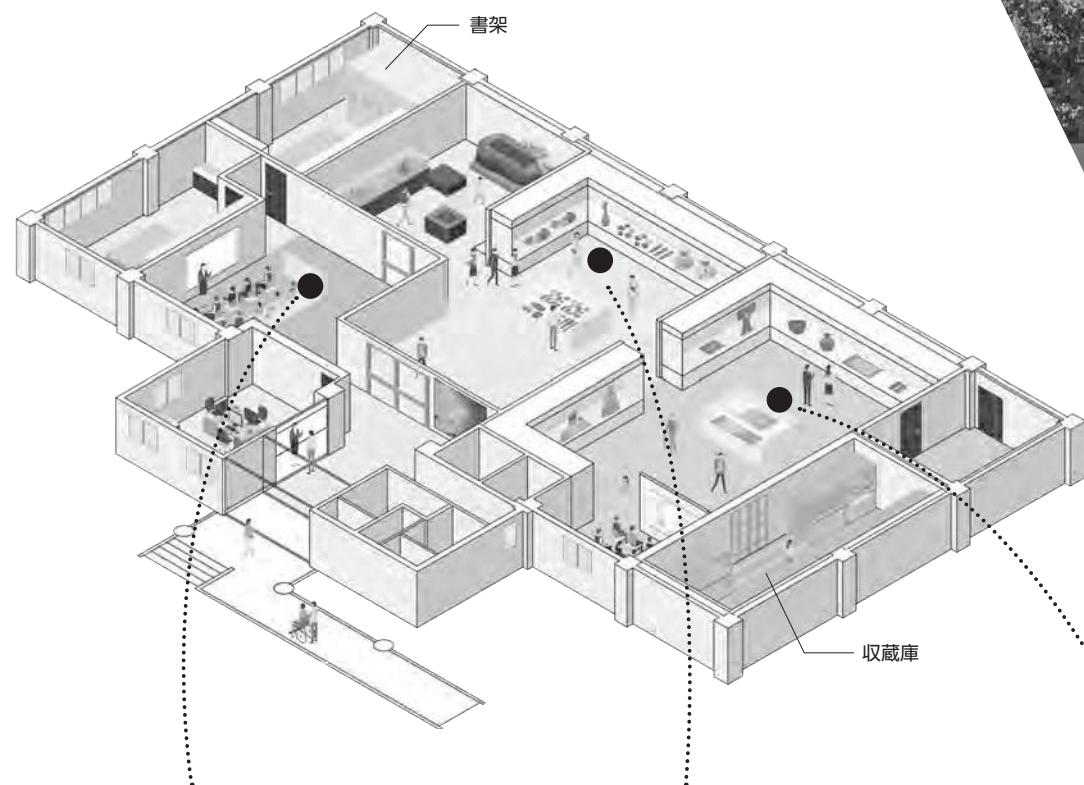
中江藤樹・たかしまミュージアム

NAKAE TOJU TAKASHIMA MUSEUM

岡文化財課 ☎ (25) 8559

ミュージアムには、中江藤樹とその教えエリア、地域で守り受け継がれてきた歴史資料などを展示するエリア、映像コンテンツで高島の多様な文化を学べる多目的エリアがあります。

3つのエリアで
多様な文化財を展示



多目的 エリア

高島の多様な歴史や文化を15分の映像を通して学べるエリアです。新たに製作した映像コンテンツで高島の魅力を体感いただけます。



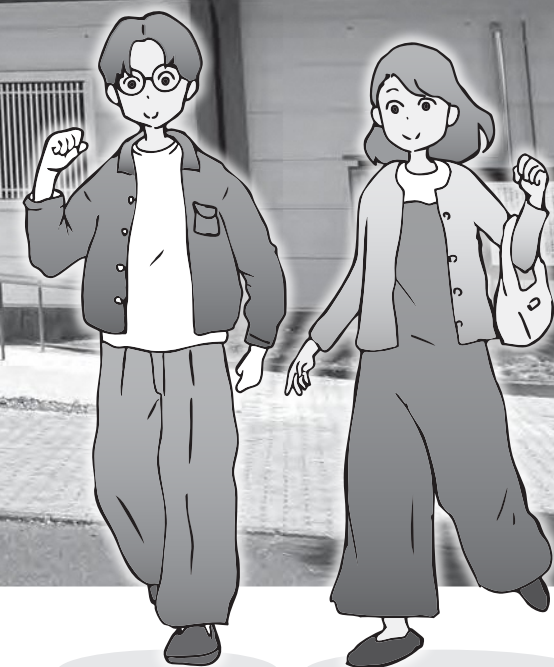
たかしまの歴史と文化 エリア

出土品をはじめとする実物の資料を見学しながら、高島の歴史と文化を学べるエリアです。貴重な実物資料と共に、パネルや写真をお楽しみいただけます。



近江聖人 中江藤樹と その教えエリア

近江聖人中江藤樹記念館で収蔵されてきた関連資料や遺品の展示、新たに作成した映像コンテンツを通して、中江藤樹の教えをより分かりやすく学んでいただけます。



展示 ケース



可動式 書架



NEW! 施設の新機能

ミュージアムには、文化財を新たに発信・展示する目的のほか、資料の収蔵、保管、調査を担う施設としての機能があります。特に、これまで収蔵された貴重な資料をより適切かつ効率的に収納するため、可動式書架を設置しています。また、指定文化財などを展示するときに必要な気密性の高い展示ケースを新たに設置し、重要文化財などの展示が可能となりました。

この他、新たな出土品や収蔵される資料を調査、整理する作業室や利用者の利便性向上を目的に、バリアフリートイレをはじめとするトイレ周りや館内の段差解消、手すり付きスロープを整備するなどの改修を行いました。

高島市には豊かな自然と人々の生活が作り上げた文化財が数多くあり、それらは先人が守り、郷土愛を育み、受け継いできた高島市の財産です。これらの文化財を新たに発信・展示する施設として『中江藤樹・たかしまミュージアム』が6月1日にオープンします。

新ミュージアム への声



大石 義一 さん
(ヴォーリス今津郵便局の会 会長)

壁紙や床の色が一新されるので、これまでよりも明るく開放的な空間になると思います。

また、高島市の歴史文化を発信する拠点施設として、地元の中高生などが関わることでできる仕組みがあると良いのではないのでしょうか。例えば、新施設を生かしたイベントの企画などをしてもらえると楽しいと思います。また「さわれる展示品」があると良いですね。

新ミュージアムには地域の魅力を引き出す要素がたくさんつまっているはずです。その要素をうまく活用して、たくさんの人に来ていただける楽しい施設になることを期待しています。



上田 あゆみ さん
(大溝の水辺景観まちづくり協議会 スタッフ)

高島の歴史や藤樹先生を紹介する映像が特に楽しみです。私が案内をしている大溝陣屋総門内でも大溝城復元映像を上映しているのですが、映像があると分かりやすく、幅広い年代の方に喜んでいただけます。また、高島市は広くて、普段はなかなか市内各地をめぐるのが難しいので、これまで朽木やマキノなど地域ごとに複数の資料館で紹介されていたことを、一つの館でまとまって見られることがうれしいです。

藤樹先生の関係資料がピックアップして紹介されることも楽しみです。

中江藤樹・たかしまミュージアム Information

開館時間 9時～16時30分

休館日 月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日が休館。）、12月29日～1月3日

入館料 一般（高校生以上）300円

団体（20人以上）200円

障がい者・介助者 100円

小中学生以下無料

※障がい者料金は、手帳または手帳アプリを提示ください。

アクセス 住所：安曇川町上小川69番地

駐車場あり（台数限りあり）

<電車・バスをご利用の場合>

- 「JR湖西線『安曇川駅』から徒歩18分
- 高島市コミュニティバス船木線『藤樹記念館前』下車すぐ

その他 団体予約を希望される場合は、次の問合先までご連絡ください。

問合先 ☎（32）0330



金銅製宝冠

石棺レプリカ



鴨稻荷山古墳には、遠く大阪府と奈良県にまたがる二上山から運ばれた重さ数トンの冢形石棺が納められています。赤く塗られた石棺内部には、金製耳飾や金銅製宝冠などの装飾品が納められ、権力者の象徴でもある石棺と出土した豪華な副葬品を体感することができます。

鴨稻荷山古墳の
石棺レプリカ

おすすめの
展示品



中江藤樹像

普段は非公開の
貴重な資料を展示



致良知三大字

中江藤樹の教えを代表する言葉「致良知（良知に致る）」。藤樹は誰もが生まれながらに持つ良知（美しい心）を鏡のように磨き、その良知に従うように努めることを教えの根本としました。「中江藤樹像」は、最も有名な肖像画として知られています。普段は非公開の貴重な資料を2点同時に展示します。

中江藤樹真筆
「致良知三大字」・
「中江藤樹像」（いずれも藤樹書院蔵）

6月15日は

開館記念講演会

開館を記念して、「継体大王出生の地」をテーマに最新の研究とその動向を踏まえ、日本列島あるいは東アジアからみた古墳時代の高島市についてお話いただきます。

この講演と共にミュージアムを見学すると高島市の歴史文化をより深く感じることができるかもしれません。

日時 6月15日（日）13時30分～15時30分

講師 ・報告 文化財課 西主事
・記念講演 中久保 辰夫 准教授（大阪大学大学院人文学研究科）

会場 安曇川図書館 視聴覚室

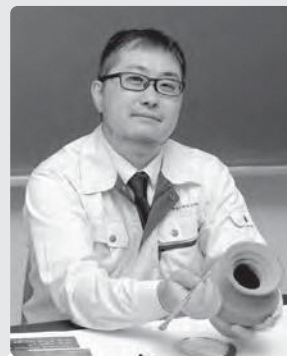
定員 40人

資料代 200円

申込方法 文化財課までメールまたは電話
☎（25）8559 ✉ bunkazai@city.takashima.lg.jp

申込締切 6月13日（金）（定員になり次第締切）

中久保 准教授



京都橘大学に在任中、高島市の古墳時代とりわけ継体大王前後の時代を中心に調査研究をされてきました。



特集2

今、高島の若手農家がアツイ!

高島青年農業者クラブに所属する若手農家 山口 修平さんが、第63回全国青年農業者会議の意見発表の部で全国2位となる農林水産省経営局長賞を受賞されました。山口さんや当クラブの若手農家に農業へのアツイ思いを伺いました。

☎ 農業政策課 ☎ (25) 8511

全国青年農業者会議とは

日本の農業の担い手として、農業や農村生活環境の改善等を実践している若者たちが、体験した成果や考えていることを発表する大会。農業を取り巻く問題を話し、新しい農業や農村の創造に役立てることが狙い。

「愛と正義」の柿農家

山口さんは、今津町深清水の柿農家で「愛と正義」を経営理念とし、山口農園の7代目として25歳の頃から就農されています。

現在は、高島青年農業者クラブの副会長として、地域の若手農家とともに地域農業を盛り上げるために、小学校での食育活動やさまざまなイベントでのPR活動など、精力的に取り組んでおられます。

地元・深清水への思いを熱く発表

今回、高島青年農業者クラブを代表して「深清水を未来につ

なぐ」をテーマに深清水に対する思いや栽培技術の向上について、全国の舞台で熱く発表をされました。

これらの取り組みを通して、深清水地域また深清水の柿の知名度をあげるため、愛と情熱をもって日々がんばっておられます。

「柿を100年後につなぐ、深清水山口農園の柿を全国へ」を夢に掲げ、今後も本市の農業を盛り上げてくださる、頼もしい若手農家です。

① 知名度の向上

屋号に深清水を入れ「深清水山口農園」として、経営理念である「愛と正義」のブランド柿を作り、自分をブランディングして、深清水と柿への思いや魅力を直接消費者に伝えるためにマルシェ等へ積極的に出店する。

② 技術力の向上、産地のレベルアップ

柿のポット栽培や育苗で早期に収穫できるかについて研究。また、他の産地の栽培方法や観光農園を視察し、深清水の柿農家と共有。

③ 地域振興

所属している「南深清水FFF倶楽部」でイベントや運営を通して、他地域の方、移住者、大学生と交流し、深清水を知ってもらい、一緒に盛り上げてくれる方を募る。

高島青年農業者クラブ

高島市内の若手農家で構成された団体。食育活動や地域農業の活性化を目的に活動を行っています。現在メンバーは11人。新規メンバーを募集中です。活動内容などは、インスタグラムからご覧いただけます。次ページでは、メンバーを紹介します。



Instagramはこちらから▲

深清水を未来につなぐ

私は深清水が好きで、100年以上つなごってきた柿を誇りに思っていて、深清水への愛に気づいたのが、私の農業者としての始まりです。

深清水では、若手の柿農家が少なく、柿の出荷量の減少や単価の安さなどによって、地域の閉そく感を感じ、深清水の名前と柿がなくなってしまうかもしれない、との危機感を覚えました。その時から、「私が深清水を有名にしたい」と決心し、有名にして10年後までに深清水で柿を作りたい人を増やすことを目標にしています。

私が、「深清水はおいしい柿の産地」だと知ってもらうきっかけになり、住みたい、手伝えたいと思ってもらえる地域を目指すことで、柿農家の思いや深清水の景色を残して

いければ目標が達成できと思っています。

また、私が所属する高島青年農業者クラブは、市内の20代、30代で構成される若手農家の団体です。みんな農業に熱い思いをもって、栽培技術や農業経営について切磋琢磨しています。みんなと情報交換したり、協力したりしながら高島市の農業を若手の力で活性化させていけるようにがんばっています。

今後とも高島青年農業者クラブにご注目ください!

山口 修平さん
今津地域の柿農家



／ 多くの農家さんが活躍！ ／

今回の高島青年農業者クラブ以外にも、市内には活躍されている農業者がたくさんおられます。

熊谷さん、岡本さんが滋賀県農林水産表彰！

昨年12月23日（月）に滋賀県公館で滋賀県農林水産表彰の表彰式が行われ、熊谷 健一さんが滋賀県農林水産表彰 功労賞、岡本 瑞希さんが滋賀県農林水産表彰 奨励賞を受賞されました。



熊谷さんは安曇川地域で水稻栽培をされており、耕畜連携や環境こだわり農業に取り組まれるとともに、若い農業者への指導に尽力をされ、地域農業の発展に大きく貢献されました。



岡本さんはマキノ地域でイチゴ栽培をされており、食味の良いイチゴ生産の実現や、消費者のニーズにあった栽培を心がけておられ、消費者からも熱い信頼を受けています。

岡本さんが中日農業賞を受賞！

3月6日（木）に愛知県で第84回中日農業賞の贈呈式が行われ、岡本 真一さんが中日農業賞 優秀賞を受賞されました。

岡本さんは、今津町深清水地域を中心に「水稻と柿」の複合経営をされており、「今津柿」の産地をさらに盛り上げたいという強い思いで、若手農家の中心として産地をリードされています。また、「水稻+柿」の複合経営のモデル的経営体として、次世代の模範となられています。



情熱と愛を込めて 新たな農業者を呼び込み 農地を次世代へ

市内には、他にも多くの農家がアツイ思いや情熱を持って農業をされていますので、今後注目してください。

高島市は豊富な水で米の生産や畜産が盛んですが、果樹に関しても県内栽培面積の40%を占めており、産地化へ向けた取り組みを進めています。

全国的に農業者の著しい高齢化や担い手の減少が深刻化している中、市でも担い手確保と育成の対策が最重要課題となっています。

将来にわたって、市内の農地をはじめ、農業によって育まれてきた生活環境や文化を守っていくため、現在、市では担い手との協力はもちろん、新たな農業者を呼び込むためにさまざまな取り組みに着手しています。また、この自然豊かな高島市の農地や景観を次世代に引き継いでいくために、環境に配慮した農業の実現にも取り組んでいきたいと考えています。

高島青年農業者クラブのアツイ仲間たち

会長 平井 翔 さん

安曇川地域の米農家



クラブの会長として、同世代の仲間とともに農業の活性化のため、食育等さまざまな活動をしています。個人の営農としては、地元である上古賀の土地で食味にこだわったお米を栽培しています。新しい技術も取り入れ、毎年チャレンジする心を持って取り組んでいます！

今後は、地域の農地が耕作放棄地にならないよう、受皿となるような農家になりたいです。また、食味コンクールなどで受賞できるようにお米を作ります！

内藤 寛人 さん

新旭地域の野菜農家



近年は高島市でも高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く情勢は厳しくなっています。だからこそ今、地域とともに支え合って、新しい形で農業を守り、若い力や外部の知恵も取り入れ、模索しながら、未来につなげるために努力したいと思っています！！

目標は地域を守りながら持続可能なもうかる農業経営をしていくことです！

また、食べていただくことで健康と笑顔になれる農作物をお届けしたいです！！

荒木 雄大 さん

マキノピックランドで果樹栽培



一から種を播いて収穫、出荷し、消費者の皆さんに届くまで一生懸命育てる、それが農業の醍醐味でもあり、達成感のある仕事だと思っています。

現在、ぶどうやさくらんぼの樹が老木化し、収穫できる量が少なくなってきたので、今後、改植をしてたくさんのお客さんに収穫体験をもらうことが目標です。

またスマート農業などを取り入れ、効率を上げられるようにしたいです！

受章おめでとうございます

春の叙勲・危険業務従事者叙勲

令和7年春の叙勲・第44回危険業務従事者叙勲の
栄えある市内の受章者をご紹介します。(順不同)

春の叙勲

《瑞宝単光章》自衛隊協力功勞

堀井 長幸さん 現 自衛隊医療協力者

危険業務従事者叙勲

《瑞宝双光章》消防功勞

安原 清和さん 元 高島市消防司令長

《瑞宝単光章》防衛功勞

岡田 孝行さん 元 准陸尉

総務課 ☎ (25) 8538

Information
お知らせ

空き家を放置していませんか!?

市民協働課 ☎ (25) 8526

市内に空き家をお持ちの方、空き家やその敷地を放置していませんか?

家は、人が住んでいない状態が続くと老朽化が進み、動物のすみかになったり、瓦の飛散や建物の倒壊、草木が繁茂したりするなど、近隣に大きな影響を与えます。

●管理は所有者等の責任

空き家やその敷地の適正管理は、所有者等の責任です。適正な管理が行われていないことで、建物が倒壊し、物が落下するなどして、近隣家屋や通行人等に被害を及ぼした場合、損害賠償等の管理責任を問われることがあります。

●活用をお考えの方は

老朽化が進む前に、お持ちの空き家を活用（売却・賃貸）したいと、お考えの場合は、活用に関するご相談をお受けしていますので、ご連絡ください。



これからの季節は、特に草木の繁茂が進むので、隣地や道路に越境することがないように、定期的に状況を確認し、適正に管理しましょう!

5月号 P8「令和7年度 市の組織」記事内に誤りがありました。お詫びのうえ訂正します。
(誤) マキノ学校給食センター、新旭学校給食センターの項目記載 **(正)** 両センターの項目を削除
 ※両センターは令和6年度中に廃止しました。

Information
お知らせマイナ保険証
があると国民健康保険制度加入の方へ
限度額適用認定証等の
更新申請は原則不要です

国民健康保険課 ☎ (25) 8137

有効期限が令和7年7月31日までの限度額適用認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)をお持ちで、マイナ保険証をお持ちの方は、原則、更新申請が必要ありません。
 マイナ保険証をお持ちでない方には、6月下旬に通知を送付します。

※マイナ保険証をお持ちでも、次に該当する方は更新申請が必要です。必要書類を添えて申請書を提出してください。

申請する12か月以内に入院日数が91日以上の方、市民税非課税世帯の方が、食事療養費の減額を受ける場合

詳しくは
こちら

市ホームページ

マイナ保険証とは
保険証利用登録をした
マイナンバーカードの
ことです。

Information
お知らせ福祉医療費受給券をお持ちの方へ
更新申請は原則不要です

国民健康保険課 ☎ (25) 8137

令和7年7月31日までの福祉医療費受給券をお持ちの方は、原則、一部の制度を除き更新申請が必要ありません。

所得要件等の審査を行い、8月以降も受給資格があると認められる方には、7月末までに新しい受給券を送付します。

・期限が切れた受給券は、保険年金課または各支所へ返還いただくか、各自で破棄してください。

更届の提出とそれらの写しの提出、受給券の交換が必要です。

●申請等が必要な場合

・精神科通院医療費助成制度の受給券をお持ちの方は、更新申請書の提出が必要です。6月中旬に案内と申請書を送付しますので、ご提出ください。

・母子・父子家庭制度の受給券をお持ちの方のうち、添付書類の提出が必要な方へ6月に案内を送付します。

・保険証、障害者手帳の等級が変更になった場合などは、変

所得の申告が
お済みでない方へ

令和7年度所得(令和6年中収入分)の申告がお済みでない方は、必ず申告をしてください。また、令和7年1月1日現在に高島市に住民登録のない方は、前住所地で、課税(非課税)証明書を取得していただく場合がありますのでご注意ください。

さらなる救急医療の高度化に向けて ドクターカーの運用を始めました！

4月1日（火）に長浜赤十字病院と協定を結び、ドクターカーの運用を開始しました。

これは、特に緊急で医師の診療を必要とする傷病者により早く対応するため、医師・看護師等が乗ったドクターカーが、長浜赤十字病院から救急現場に駆け付けたり、病院へ急行する途中の救急車と合流し、病院に到着するまでに、傷病者を医師へ引き継いだりするものです。

けがや病気の起こった場所によっては、救急車で病院へ搬送するよりも早く医師の診察・治療を受けることができ、傷病者の救命率の向上や、後遺症の軽減が大きく期待できます。

救急隊の技能向上をはじめ、現在運用中のドクターヘリと合わせ、高島市消防本部では、さらなる救急体制の充実を目指します。（消防本部警防課）

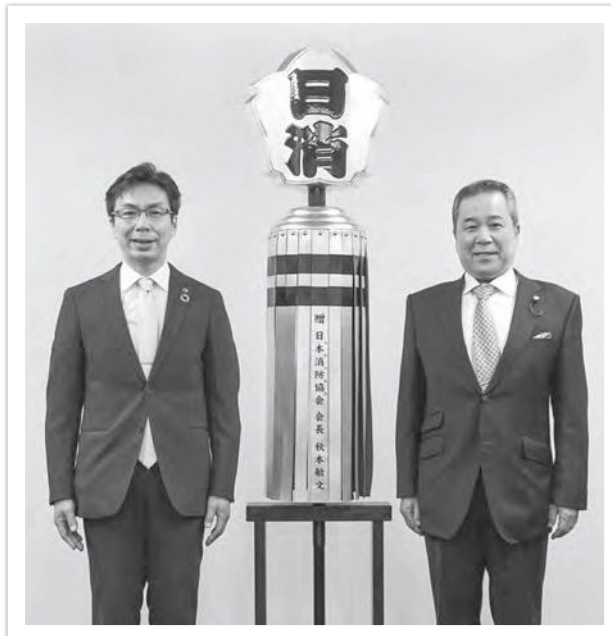


消防団の最高栄誉 「まとい」を高島市消防団が受賞！

3月7日（金）に東京都で行われた、第77回日本消防協会定例表彰式で、高島市消防団に「特別表彰まとい」が授与されました。これは、公益財団法人日本消防協会が成績優秀な消防団を表彰するもので、消防団にとって最高の栄誉とされます。

「まとい」とは、江戸時代に町火消しの各組が用いた旗印の一種で、組によってさまざまな意匠があり、当時の火災現場では体力・威勢に優れた「まとい持ち」が屋根にあがって「まとい」を揚げ、消火活動の目印とするとともに、仲間の士気を鼓舞したとされています。

高島市消防団は今回の受賞を今後の消防団活動の励みとし、より一層の研さんを重ね精進していきます。（消防本部消防総務課）



設備投資奨励金

●奨励金の額

過去3年間（令和4年1月2日～令和7年1月1日）の新規設備投資に対する固定資産税の2分の1相当額

●申請の時期

9月20日（土）まで

●実績報告の時期

固定資産税を全額納付された日から令和8年2月28日（土）まで
※交付申請、実績報告ともに当日の消印有効

雇用増進奨励金

●交付条件

令和7年1月1日と令和8年1月1日と比較して、市内従業員数が増加していること

●奨励金の額

※常時雇用する従業員数により要件が異なります。
増加した市内従業員1人当たり10万円（市外からの転入者および障がい者の方は20万円）

●申請の時期

令和8年1月5日（月）～31日（土）
※当日の消印有効

※奨励金の一部は地域通貨アイカでお支払いします。
詳しくは、市のホームページをご覧ください。

Information
お知らせ

がんばる企業を応援します！

問 商工振興課 ☎（25）8514

対象

市内に住所がある個人、または市内に事業所がある法人

市内の企業の皆さんの事業活動を応援し、企業経営の安定化を図るため、「高島市企業活動支援奨励金交付要綱」を制定し、企業の設備投資や雇用増進を支援します。

Information
お知らせ

創業スタートアップ応援事業
を「活用」ください！

問 商工振興課 ☎（25）8514

対象

市内での創業を推進するため、創業してから2年以内の方や、これから事業を始められる方に支援を行っています。

対象経費

- 創業予定または創業日から2年を経過していない方
- 市内の事務所または事業所等で事業を行う方
- 実践型創業塾の受講を修了している方
- ※その他の要件は、市のホームページをご覧ください。
- 店舗等改修工事費
- 事務所等の外装・内装の改修工事費用
- 店舗等借入費
- 事務所等の賃借料
- 設備費
- 機械等の設備費用
- 広告宣伝費
- 販路開拓等の広告宣伝費用

補助金額

補助対象経費の合計金額の2分の1（上限30万円）

申請に必要な書類

- 補助金交付申請書
- 事業計画書
- 補助対象経費内訳書など

申込締切

令和8年2月28日（土）

交付決定後に
実施し支払った
経費が対象です。



市ホームページ

陶芸家の伊東さん

日本伝統工芸近畿展で滋賀県知事賞を受賞！

4月9日（水）から14日（月）に行われた、第54回日本伝統工芸近畿展において、高島市在住の伊東 晃さんが滋賀県知事賞を受賞されました。（社会教育課）



【作品】台形鉢「斜陽」



JALレーク滋賀から

農業に関する教材をご恵贈いただきました！

4月10日（木）にJALレーク滋賀から、小学校高学年向けの農業に関する教材「農業とわたしたちのくらし」400部をご恵贈いただきました。

今回いただいた教材は、市内の小学校に配布され、子どもたちの学習活動に使用する予定です。（学校教育課）



広報紙・広報写真・映像の3部門で選出の快挙

「広報たかしま」が全国広報コンクールへ！

令和7年全国広報コンクールの滋賀県予備審査の結果、県内の応募団体の中から、高島市が広報紙、広報写真、映像の3部門で選出され、全国大会へ進出しました。全国での入選とはなりませんでした。評価されたことを励みにし、今後も分かりやすく親しんでいただける広報づくりに努めていきます。（企画広報課）



▼評価ポイント

【広報紙部門】 広報たかしま令和6年2月号

デザイン的な工夫が見られ好印象。20歳の若者や一般事業者をフォーカスした企画は、市民に向けて作られている印象で好感が持てる。

【広報写真部門】 広報たかしま令和6年6月号

祭りの喜びが神輿を担ぐ若者の表情から伝わってくる。一見して伝わってくる臨場感と表情に、こちらもついほほ笑んでしまう。



【映像部門】 高島市消防本部PR動画

迫力ある映像で活動がよく伝わった。自主制作でありながら演出やカメラワーク等高いクオリティ。



▲動画はこちら



NPO法人絵本による街づくりの会

子どもの読書活動で文部科学大臣表彰！

4月23日（水）に東京都で行われた、子どもの読書活動推進フォーラムの表彰式において、NPO法人絵本による街づくりの会が、令和7年度子供の読書活動優秀実践団体として文部科学大臣から表彰されました。

NPO法人絵本による街づくりの会は、平成16年の設立以来、絵本から広がる「出会い」「体験」「感動」を合言葉に、「子どもの笑顔があふれる街」を目指して活動され、子どもの読書環境づくりの推進に貢献されてきました。（社会教育課）



針江生水の郷委員会

ふるさとづくり大賞を受賞！

2月10日（月）に、総務省が主催する令和6年度ふるさとづくり大賞の表彰が行われ、針江生水の郷委員会が団体表彰を受賞されました。この賞は、全国各地で、「ふるさと」をより良くしようとがんばる団体や個人に対して授与されます。

針江生水の郷委員会は、平成16年に設立され、来訪者に針江地域の湧水を利用した「かばた」と水環境に配慮した暮らしについて紹介するとともに、次世代育成として子どもたちに「かばた」や水に触れる機会の提供を行っています。（市民協働課）



高島の盆踊り歌保存会

おうみ社会貢献賞を受賞！

3月24日（月）に、公益財団法人滋賀県市町村振興協会が主催する第13回「おうみ社会貢献賞」の表彰が行われ、高島の盆踊り歌保存会が受賞されました。この賞は、地域に密着した社会貢献活動に地道に取り組んでいる民間の団体や個人を表彰するものです。

高島の盆踊り歌保存会は、市内6地域に残る現存7種類の高島音頭を未来につなげるため、音頭と踊りの保存、継承に向けた若手人材の育成と高島音頭の普及を目的に平成18年に設立されました。音頭継承のための練習会を行ったり、踊りを披露する大会を開催したりしています。（市民協働課）

